

令和7年度一般選抜（前期日程） 地理総合・地理探究 標準解答例

〔1〕 標準解答

- 問1 沖積平野上を流れる大明神川は、洪水を防ぐため堤防により流路を固定して河床が周囲の平野面より高くなった天井川であり、鉄道がトンネルで川の下を通過する。河口には、土砂の堆積がみられる。（90字）
- 問2 Aの大新田は耕地を拡張するために、近世に浅海を干拓して形成された新田集落である。集落の周囲では海沿いの堤防内側が水田として利用され、近世干拓後に形成された堤防外側の土地に工場が立地している。（95字）
- 問3 西条市の人口ピラミッドは、40代～70代の中老年層が多くて高齢化が進むとともに、少子化により20代以下の人口が少なく、特に市内に大学・短期大学が存在しないため20～24歳が少ないつぼ型のくびれた構造になっている。西条市は、全国と比べて農業・林業や製造業、医療・福祉、建設業、複合サービス事業で働く就業者数の割合が高く、これら労働集約的な産業の雇用が40～50代の人口を維持する要因になっているとみられる。（195字）

〔2〕 標準解答

- 問1 A ナイジェリア B セネガル C エチオピア D マダガスカル
- 問2 南アフリカは南西部に地中海性気候が分布し、夏の乾燥や気温の日較差等、ワインの原料であるブドウ栽培に適した自然環境を有する。植民地支配の歴史により商業的農業が展開したことや、醸造に関する知識・技術がもたらされたことから生産が開始した。また、民主化後の流通自由化により輸出が拡大し、生産が盛んになった。（149字）
- 問3 サハラ以南アフリカには多くの民族・言語集団が存在し、交易等の交流をもちながら共生してきたため、複数の民族語を使用できる場合が多い。異なる民族が集まる都市部等では、地域共通語が広く使用される例もある。また、独立後に公用語として旧宗主国の言語が導入された国が多く、これらの言語を使い分ける状況が生まれた。（150字）
- 問4 中国は資源需要の高まりから、資源の安定的確保を目的として石油や鉱産資源の産出国との関係を強めている。先端技術産業に不可欠なレアメタルの産出国も同様である。これらの資源産出国や一帯一路構想の要衝である東アフリカのインド洋沿岸諸国においては、貿易やインフラ整備への投資・援助が活発に行われている。（146字）